

学校の教育目標「認めあい 支えあい 高め合う」

令和7年5月号
令和7年5月1日発行



あゆみ

八潮市立八潮中学校
八潮市中央1-1-2
Tel:048-996-4219
生徒数 559人

感謝の気持ちを伝えよう

校長 市川 真志

5月は暖かくすっきりした気持ちの良い気候が続く、私の大好きな月です。暑い日もありますが、梅雨を前にしたつかの間のすがすがしい天気を満喫できる季節でもあります。最近では春や秋が短くなってきていますが、この気持ちの良い気候を楽しんで生活したいものです。



さて、5月は「家族に感謝する月」だと私は思っています。5月5日は「こどもの日」、5月の第2日曜日は「母の日」です。どちらも、家族にとって大切な日なので、我が家では毎年いろいろなイベントを催しています。皆さんは、身近な人に感謝を素直に伝えていませんか？「感謝は行動で示す」という方もいますが、私はしっかりと言葉で伝えることが大事だと思っています。たとえ家族でも、しっかりと言葉にしていないと、以外に伝わらないものです。「こどもの日」や「母の日」のような日を一つのきっかけとして、日頃の感謝を言葉にして伝えてみるのも良いのではないのでしょうか。多少照れくさいかもしれませんが、素直に感謝を述べることは、とても良いことだと思います。

少し違う話になってしまいましたが、最近私は「譲る」ことにこだわって生活しています。例えば、コンビニに入ろうとしたとき、中から出ようとしている人が見えたら、自動ドアを開けてから「どうぞ」といって先に出てもらいます。エレベーターに乗ったときでは、同じ階で降りる人がいたら、「開」ボタンを押しながら「どうぞ」といって先に出てもらうようにしています。そうすると、たまに「ありがとうございます」という言葉が返ってきます。ちょっとしたことですが、私にとってうれしい瞬間です。「あの人、ちょっと怖そうな表情だったけど、いい人だな」と、何となくうれしくなります。そのことを知っているのだから、私自身誰かに譲ってもらったら、必ず「ありがとう」を言葉で伝えるようにしています。街中でスマホを見ている人を見ると険しい表情の人が多いますが、「ありがとう」を言うときは顔を上げて優しい表情になります。感謝の言葉は、不思議な力を持っていますね。

今は、言葉をあまり発さない時代になってしまいました。その原因は、SNSの進歩やコロナ禍の影響など、様々なことが考えられます。そんな今だからこそ、日頃の生活を通じて言葉で伝えることの大切さを再確認したいです。あいさつ、返事、感謝の気持ちなど、いろいろなことをきちんと言葉で相手に伝えるように心がけてほしいです。八潮中学校を、言葉であふれる学校にしていきたいと心から願っています。